

授業科目	* 助産学実習 I (正常)				単位	5				
履 修	必修	関連資格				ナンバリング	M I31402J			
開講年次	1 年	開講時期	後期	該当DP	DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP4-1 DP5-1					
担当教員	古賀 玉緒、山田 恵、前田 幸、田中 満由美									
授業概要	妊娠・分娩・産褥・新生児各期の対象を受け持ち、助産技術の習得および助産過程展開・健康教育の実施を行い、助産実践力を養う。									
学生が達成すべき行動目標	実習要項参照									
達成度評価										
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考		
総合評価割合	0	0	40	0	0	60	100	その他は実習状況		
知識・理解 (DP1-1)										
知識・理解 (DP1-2)										
知識・理解 (DP1-3)										
知識・理解 (DP1-4)										
思考・判断 (DP2-1)			10				10			
思考・判断 (DP2-2)			10				10			
関心・意欲 (DP3-1)						10	10			
関心・意欲 (DP3-2)										
態度 (DP4-1)						10	10			
態度 (DP4-2)										
態度 (DP4-3)										
技能・表現 (DP5-1)			20			40	60			
技能・表現 (DP5-2)										
技能・表現 (DP5-3)										
具体的な達成の目安										
理想的レベル					標準的なレベル					
標準的なレベルの1～6を達成したうえで、対象へ適切な助産技術を主体的に実施できる。さらに、対象の状況に合わせた助産過程を自律して展開し適切に表現できる。					<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 妊娠・分娩・産褥・新生児期の対象の身体・心理・社会的変化を説明できる。</li> <li>2. 妊娠・分娩・産褥・新生児期の対象の健康診査が実施できる。</li> <li>3. 妊娠・分娩・産褥・新生児期の対象へ適切な助産技術が実施できる。</li> <li>4. 妊娠・分娩・産褥・新生児期の対象に必要な保健指導や健康教育が実施できる。</li> <li>5. 妊娠・分娩・産褥・新生児期の対象に対して、経過中のリス</li> </ol>					

			クを予測し正常からの逸脱予防のための助産ケアについて説明できる。 6. 対象の状況をふまえた助産過程を転嫁し表現できる。	
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	実習オリエンテーション (古賀)	講義	復習:オリエンテーション内容に関する復習および課題の実施	60
2	実習準備:助産技術演習他 (古賀・前田・山田・林)	演習	予習復習:実習準備に関する学習	60
3	臨地実習 実習要項参照	臨地実習	予習:受け持ち妊産褥婦に関する学習・看護計画立案他 復習:実践した看護の結果に関する評価考察他	120
4	実習のまとめ (田中・古賀・前田・山田・林)	演習	予習:実習のまとめ作成・発表準備	60
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				

19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	妊産褥婦と新生児のアセスメントとケアに関する知識と技術を要する。 基礎科目・専門科目・支援科目及び助産学基礎実習で学習したことを復習して実習に臨んで下さい。			
テキスト	堀内成子編集「(助産学講座 5) 助産診断・技術学 I」,医学書院 我部山キヨ子他編集「(助産学講座 6) 助産診断・技術学 II [1]妊娠期」,医学書院 我部山キヨ子他編集「(助産学講座 7) 助産診断・技術学 II [2]分娩・産褥期」,医学書院 横尾京子編集「(助産学講座 8) 助産診断・技術学 II [3]新生児期・乳幼児期」,医学書院			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	病気が見える vol.10 産科(第3版):医療情報科学研究所編,メディックメディア 日本産婦人科学会他編・監:産婦人科診療ガイドライン 2017,日本産婦人科学会事務局 北川真理子他編:今日の助産マタニティサイクルの助産診断,南江堂 根拠と事故防止からみた母性看護技術,医学書院			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	本実習は期間・時間ともに長期で不規則になることが考えられるので、健康管理に留意して下さい。 助産学生として倫理的視点を意識して、言動・身だしなみにはくれぐれも注意してください。			
達成度評価に関するコメント	実習態度、事前学習、実習記録物などを含め実習評価表に基づいて評価を行います。			